

大学入試

第9回

日本史最前線

講師：石川晶康（河合塾講師）

次の史料A～Dは、古代～中世の僧侶の活動について記した法令，書物などの一部である。よく読んで、問1～5の設問に答えなさい。

A 詔して曰く、「……方今、小僧（ア）^{ならび}に弟子等、街衢^{がいく}に零^{れいじょう}置して妄^{みだ}りに罪福を説く。朋党^{しひ}を合せ構へ、指臂^{しひ}を焚^たき剥^はぎ、歴門^は仮説して強^はひて余の物を乞^{いつわ}ひ、詐^{いつわ}りて聖道^{じょう}を称^よして百姓^{ようわく}を妖惑^{じょうわく}す。道俗^{じょう}擾乱^{じょうわん}し、四民^{なりわい}業^{なりわい}を棄つ。進みては釈経^{しやくけい}に違^{ちが}ひ、退^ひきては法令^{ほうれい}を犯^とす。……」と。

B 一、当寺^{たうじ}（時）の相承^{さうじょう}は、（イ）^{しゃみ}沙弥^{じゆみ}、^{じゆみ}寿妙^{じゆみ}嫡^{ちやく}々^{ちやくちやく}相伝^{さうでん}の次第^{しだい}なり。
一、寿妙^{じゆみ}の末流^{まつかう}高方^{たかかた}の時、権威^{けんい}を借^からむがために、実政^{さねまさ}卿^{もつ}を以て領家^{りやうけ}と号し、年貢^{ねんこう}四百石^{しひやくしやく}を以て割^わき分^{わか}ち、高方^{たかかた}は庄家^{じやうけ}領掌^{りやうしやう}進退^{しんたい}の（ウ）となる。……

C 沙門^{さもん}（エ）は、……口^{くち}に常^{じょう}に弥陀^{あみだ}仏^{ぶつ}を唱^なふ。故^{ゆゑ}に世^よに阿弥^{あみだ}陀^だ聖^{せい}と号^なづく。
或^{ある}は市中^{いちゆう}に住^すして仏事^{ぶつじ}を作^{つく}し、また市^{いち}聖^{せい}と号^なづく。嶮^{あや}しき路^ぢに遇^あひては即^{すなは}ちこれ^{これ}を鑿^{けず}り、橋^{はし}なきに当^ありてはまたこれ^{これ}を造^{つく}り、井^いなきを見^みるときはこれ^{これ}を掘^ほる。……

D 一、……(**オ**)においては、「たゞ念仏して、弥陀にたすけられまいらすべし」と、よきひとの仰をかふむりて、信ずるほかに、別の子細なきなり。念仏は、まことに浄土にうまるゝたねにてやはんべるらん。また、地獄にをつべき業にてやはんべるらん。惣じてもて存知せざるなり。たとひ、(**カ**)上人にすかされまいらせて、念仏して、地獄におちたりとも、さらに後悔すべからずさふらふ。……

問1 史料A～Dを記載した書物、または古文書を収載した文書集の名称を**a群**より、空欄(**ア**)～(**カ**)に入るもっとも適切な人物名または語句を**b群**より、それぞれ1つずつ選びなさい。

- 《**a群**》 ① 東寺百合文書 ② 歎異抄 ③ 続日本記
 ④ 選択本願念仏集 ⑤ 日本往生極楽記 ⑥ 正倉院文書
 ⑦ 類聚三代格 ⑧ 往生要集

- 《**b群**》 ① 預所職 ② 親鸞 ③ 空也 ④ 道鏡
 ⑤ 行基 ⑥ 一遍 ⑦ 開発領主 ⑧ 座主
 ⑨ 法然 ⑩ 本家 ⑪ 別当 ⑫ 日蓮

問2 史料Aについて、次の設問に答えなさい。

(1) (**ア**)の僧侶の活動を説明する文章として誤っているものを、次から2つ選びなさい。

- ① 弟子たちを率い、大仏造立を成功させるための勧進を行った。
 ② 行路者を救済する施設の設置や、架橋・築堤・造池などの土木事業を展開した。
 ③ 大仏の思想的背景である『華嚴経』を説き、皇室の信頼を得た。
 ④ 大僧正に就任し、大仏開眼会の開眼師を務めた。
 ⑤ 都市での乞食活動が、国家により民の生業を捨てさせるものと認識され、弾圧を受けた。

(2) (**ア**)の僧侶の活動と関連する奈良時代の政策として、もっとも適切なものを**a群**より、その理由を**b群**より、それぞれ1つずつ選びなさい。

[a群から選んだものが(**ア**)の僧侶と関係していても、b群の理由が正しくなければ不正解とする。]

- 《a群》 ① 百万町歩の開墾計画 ② 光明子の立后
③ 墾田永年私財法 ④ 戒師招請
⑤ 恭仁京の造営

- 《b群》 ① 立案を担った長屋王は仏教信仰が篤く、(ア)の僧侶とも親交があり、彼を支援する豪族や有力農民の利益を考えていた。
② 光明子は、悲田院・施薬院を建てるなどの社会事業を通じ(ア)の僧侶とも親交があったので、彼が立後の政治的実現に協力した。
③ この法令による開発熱は(ア)の僧侶の土木事業と呼応、豪族や有力農民の利益を拡大し、大仏造立の資金援助にも結びついた。
④ 大僧正に就任した(ア)の僧侶が戒律不備の現状を憂い、鑑真の招請を積極的に推進した。
⑤ (ア)の僧侶の乞食活動により平城京内の秩序が混乱し、しばらくの間都を遷さざるをえなくなった。

問3 史料Bについて、次の設問に答えなさい。

- (1) 史料Bに示されたタイプの荘園を何系荘園と呼ぶか。名称をa群より、その説明としてもっとも適切なものをb群より、それぞれ1つ選びなさい。

- 《a群》 ① 院分国 ② 自墾地 ③ 既墾地
④ 知行国 ⑤ 寄進地

- 《b群》 ① 国司・郡司の協力を前提に、国家的事業として推進された。
② 『愚管抄』は、延久の荘園整理に際し、摂関家からも目録を提出させたと記している。
③ 東大寺は僧を派遣して土地の占地を行い、北陸地域に大規模な荘園を築いた。
④ 鳥羽法皇が皇女八条院に伝えた八条院領は、平安末には約100ヶ所あった。
⑤ 後白河法皇が長講堂に寄進した荘園群は、後に大覚寺統が継承した。

(2) 荘園の獲得しえた権利に関する説明として誤っているものを、次から2つ選びなさい。

- ① 国家への租税の一部、またはすべてが免除される権利を、「不輸の権」という。
- ② 国衙の検田使・収納使などの立ち入りを拒否する権利を、「不入の権」という。
- ③ 「官省符荘」の官は太政官、省は中務省を指す。
- ④ 国司免判も、不輸が認められるのは国司の任期中だけだった。
- ⑤ 「国免荘」とは、「国」家によって租税を「免」除された荘園との意味である。

問4 史料Cについて、次の設問に答えなさい。

(1) (**工**)の僧侶が説いた教えとは、どのようなものであったか。名称を**a群**より、その説明として誤っているものを**b群**より、それぞれ1つ選びなさい。

- 《**a群**》
- ① 法相宗
 - ② 浄土教
 - ③ 華嚴宗
 - ④ 修験道
 - ⑤ 本地垂迹

- 《**b群**》
- ① 阿弥陀仏を信仰して念仏を称え、極楽に往生することを説いた。
 - ② (**工**)のような多くの聖たちが、都市や農村で民間布教に活躍していた。
 - ③ 藤原道長や頼通も篤く信仰し、関連する法会を催したり、寺院を建立したりした。
 - ④ 往生伝のひとつ『梁塵秘抄』には、多くの極楽歌が収められている。
 - ⑤ 念仏往生の作法を説いた『往生要集』には、地獄の様相も具体的に描かれている。

(2) (1) a で解答した教えは、ある考え方の流行を通じて急速に社会に広まった。思想の名称を**a群**より、その説明としてもっとも適切なものを**b群**より、それぞれ1つ選びなさい。

- 《**a群**》
- ① 末法思想
 - ② 神仏習合思想
 - ③ 陰陽道
 - ④ 御霊信仰
 - ⑤ 密教

- 《b群》 ① 除災招福を実現する加持祈祷が、貴族層に広く受け入れられた。
② 中国から傳來された神身離脱の形式が、次第に日本化しながら広がった。
③ 怨霊や疫神を祀り、さまざまな災厄から逃れようとした。
④ 陰陽五行説を核に、占い・祭祀・呪術の体系として確立された。
⑤ 疫病の流行や僧兵の衝突などが、具体的な表象と考えられた。

問5 史料Dについて、次の設問に答えなさい。

(1) (オ)が(カ)の説を発展させた専修念仏の核となる考え方をa群より、専修念仏の動向の説明として誤っているものをb群より、それぞれ1つ選びなさい。

- 《a群》 ① 公案問答 ② 七段の道理 ③ 只管打坐
④ 悪人正機 ⑤ 大義名分論

- 《b群》 ① 撰閑家の九条兼実は、(カ)の教えに深く傾倒していた。
② (オ)の教えを奉じる人々は、中世後期に一向一揆を結んでいくことになる。
③ (カ)は『選択本願念仏集』をまとめ、(オ)は『歎異抄』を著した。
④ 念仏至上主義ともいえる主張は、旧仏教側からの弾圧を招いた。
⑤ (カ)の弟子の中には、源平合戦で名を馳せた熊谷直実ら
がいた。

(2) いわゆる鎌倉仏教が興った時代も、仏教勢力の主流は南都仏教と平安仏教であった。鎌倉時代における彼らの新たな活動、新旧仏教勢力の関係を説明した文として、誤っているものを次から1つ選びなさい。

- ① 華嚴宗の明恵は、(カ)の思想を激しく批判した。
② 忍性の建てた北山十八間戸は、民衆の耕地開発の拠点となった。
③ 東大寺の重源は、(ア)の事跡を襲い、狭山池の改修工事を行った。
④ 真言律宗の叡尊は、元寇に際し、蒙古調伏の加持祈祷を行った。
⑤ 臨濟宗の開祖と仰がれた栄西は、天台の祈祷僧としても活躍した。

(上智大学：文学部・法学部・総合人間科学部/ 08年)

第9回 解答

- 問1 A-3 B-1 C-5 D-2
ア-5 イ-7 ウ-1 エ-3 オ-2 カ-9
- 問2 (1) 3・4 (2) a群-3 b群-3
- 問3 (1) a群-5 b群-4 (2) 3・5
- 問4 (1) a群-2 b群-4 (2) a群-1 b群-5
- 問5 (1) a群-4 b群-3 (2) 2